

# 県病ニュース秋号

2015年11月 No.204

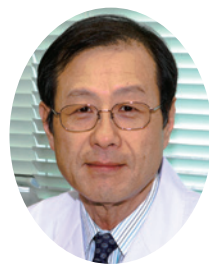
【理念】奉仕・信頼・進歩

大分県立病院  
広報誌

病院機能評価  
Ver.6.0認定病院

当院は敷地内  
全面禁煙です。

## 『分かりやすい病院を目指して』



院長 井上 敏郎  
いのうえ としろう

県立病院を利用される県民の方々ととって分かりやすい病院とはどのような病院でしょうか？

病院は大分市のどこにあるの？から始まって、病院の入り方は？はじめの手続きはどこ

手続きは？  
診察はどこ？  
支払いはいくら？  
待ち時間は？



で？診療時間は？時間外の診療は？何科にかかればいいのか？診察はどこ？血液検査やX線、CT、MRI、内視鏡はどこ？どれくらいの待ち時間？支払はいくらぐらいかかる？などなど病院へ行ったら分からないことばかり。

このような疑問、戸惑い、不安を減らすためにはどんな仕組みや手だてがあったらよいでしょうか？

受診するまでに時間に余裕がある場合、事前に受診についての情報を得てもらう。その方法は電話による相談、ホームページでの案内、かかりつけ医による事前紹介時の案内などがあります。最もスムーズな流れは、かかりつけ医に紹介してもらって来院前に必要な情報を

診療支援センター担当者から得ていただくやり方です。

急に思い立って診療を受けようと直接病院に来られた場合、受付時間内であれば総合受付コーナーで担当看護師が案内、いろいろな質問に対応しています。午前中の受付時間を超えている、夕方を超えて時間外となった場合は電話案内担当や防災センター職員がまず窓口となって担当看護師が対応しています。時間帯によって担当者が異なっており、一度で済まず電話を回されることが避けられないため、病院を利用する方には大変不便をかけています。

全てを一朝一夕に解決できる方法はなかなか見当たりませんが、県病ニュースのような紙媒体やホームページ、院内表示の改善や掲示物による広報、ボランティアによる案内等をより分

かりやすくする、院内電子看板を導入して随時必要な情報を提供する試みの検討などを行う。情報発信力をアップするよう努めていきたいと考えています。

しかしながら、何はさておき、医師、看護師をはじめその他の全職種の職員がもつと分かりやすく説明できるように努めて行くことが最も大切なことではないかと考えています。病院の利用手順だけではなく、診療前後に病気をいかに分かりやすく説明できるかは医師にとってこれまでもそしてこれからも永遠の課題です。不断の努力が必要だと痛感しています。



# 総合周産期母子医療センターのご紹介



副院長兼総合周産期  
母子医療センター所長  
さとう しょうじ  
佐藤 昌司

「周産期」とは、妊娠22週から生後7日未満の時期を指し、この時期はお母さんと赤ちゃん（胎児・新生児）にとって最も大切な時期です。

総合周産期母子医療センター（周産期センター）は、産科と新生児科の機能を集中し、主にリスクのある妊娠・出産とリスクのある新生児の管理を専門に行い、周産期における突発的な緊急事態に対応できるよう、24時間体制で、医療を行う施設です。お母さん方が安心して子供を産み育てるための環境づくりを推進するため、妊娠・出産から新生

児に至る高度専門的な医療を提供することを目的として整備されました。当院の周産期センターは、大分県内初のMFIUCU（母体・胎児集中治療室）6床、NICU（新生児集中治療管理室）9床を完備し、突発的な緊急事態に対応できる体制を整えています。

【産科部門】主として合併症をお持ち



NICU

ちの妊婦さんや赤ちゃん（胎児）の妊娠・分娩を管理する部門です。年間約600例の分娩

を24時間体制で取り扱っています。

センター内では6床のMFIUCUと19床の後方病床を備え、母子の生命・健康に重大な影響を与える因子を持つハイリスク患者さんの集中管理ができる体制を整えています。また、合併症のない妊婦さんや赤ちゃんについても安心して妊娠生活を送ることができるように、そして安全にお産ができるように管理・サポートしています。

【新生児科部門】当院産科で出産さ



MFIUCU室内

れるハイリスク妊婦への分娩立ち会い、引き続き出生後の新生児への治療を24時間体制で行います。

また、開業産婦人科で出生した

病的な新生児を新生児専用救急車のカンガルー号でお迎えに行き、大分県立病院まで搬送し、同様に治療を行います。さらに、地域周産期母子医療センターから重症新生児の転院搬送を受け入れて、高度医療を提供しています。年間、大分県全域から350人弱の入院（県内で発生する病的な新生児の約50%）があり、特に人工呼吸管理を要する重症の新生児は年間100人弱、また出生体重1500g未満の極低出生体重児は約50人に及んでいません。



カンガルー号

# 循環器センターのご紹介



循環器センター  
所長

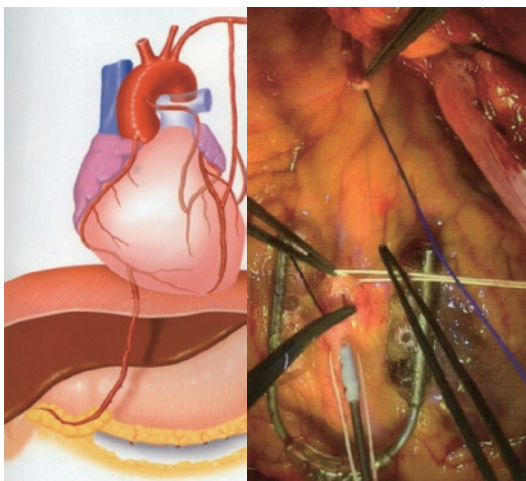
ふみ 史  
たか 卓  
だ 田  
やま 山

我が国は高齢化社会を迎え、高血圧や虚血性心疾患等の疾病率が著しく増加してきています。こうした状況の下、循環器疾患を診療科の枠を超えて総合的に治療できるハートチームの重要性が強調されつつあり、当院は県内の基幹病院としていち早く「循環器センター」の設立を行いました。

当院の循環器センターは県内の循環器疾患に対し、最高レベルの医療技術を24時間体制で提供することを目的としており、循環

器内科、心臓血管外科のみならず、放射線科、代謝内科、腎臓膠原病内科、形成外科、救急科、臨床工学部門、リハビリ部門などもメンバーに加え、虚血性心疾患、不整脈、心不全、大動脈疾患、末梢血管疾患、心臓リハビリテーションなど循環器領域全般とその予防や合併症に至るまで、ハイブリッド治療をはじめ、高度専門医療を協力して提供していきます。

当センターの診療実績はトツ



心拍動下冠動脈バイパス術

心臓血管外科における昨年1年間の●心臓大血管手術数は73件、●末梢血管その他手術数は174件であり、最近では腹部大動脈瘤に対す

レベルであり、循環器内科における昨年1年間の●診断カテーテル検査数621件、●経皮的冠動脈形成術数(PCI)208件、●除脈性不整脈治療であるペースメーカー植え込み術(PMI)48件、●植え込み式除細動器(ICD)5件、●再同期療法(CRT)3件となっております。



経皮的冠動脈形成術(実施風景)

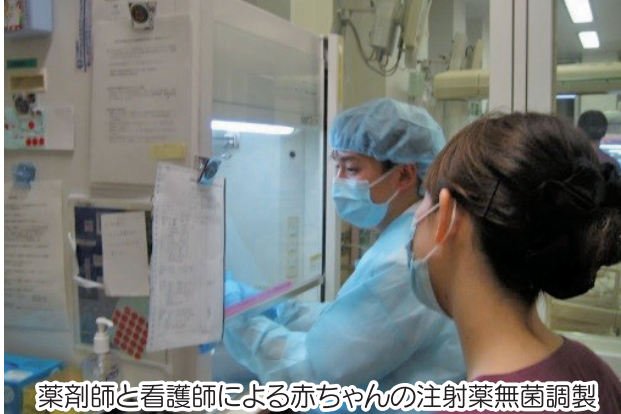
るステントグラフト血管内治療や下肢静脈瘤に対するレーザールジオ波治療も導入しております。

## 新生児病棟で働く薬剤師

～「新生児病棟」とは、早い週数で生まれた赤ちゃんや先天的な疾患のため治療を余儀なくされた赤ちゃんが治癒・軽快するまで入院する病棟です。～

新生児病棟に入院中の赤ちゃんは、もともと体が小さいことが多く、点滴での水分・栄養管理がとても重要です。また、そのような赤ちゃんたちは免疫も未熟で、感染症にかかるリスクも高いことが知られています。

入院中の赤ちゃんに、安全で適切な注射薬を届けるため、当院では、平成26年1月から薬剤師が看護師と共同で赤ちゃんの注射薬の無菌調製を行っています。さらに平成27年2月には、新生児病棟内に注射薬調製室を増設し、より清潔で安全に注射薬が調製できるようになりました。



薬剤師と看護師による赤ちゃんの注射薬無菌調製



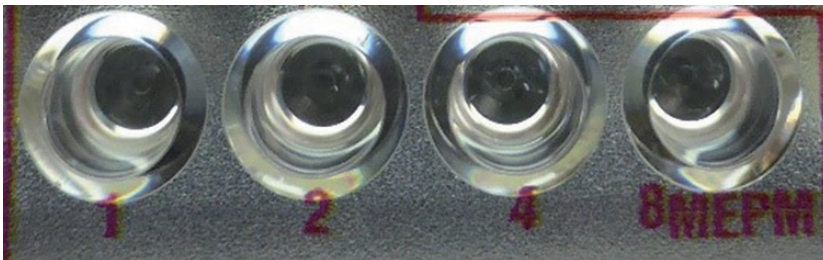
注射薬調製室

## 多剤耐性菌に対する薬剤感受性検査

～怖い多剤耐性菌に対抗するには～

近年、多剤耐性菌による感染が問題となっています。多剤耐性菌とは、さまざまな抗生物質を用いて治療を行っているうちに、突然変異などによって多くの種類の抗生物質が効かなくなってしまった細菌のことです。効果のある抗生物質が少なく、治療が難航してしまうことがあるため問題となっています。

しかし、多剤耐性菌は必ずしも全ての抗生物質が効かない訳ではありません。そこで細菌検査室では、患者さんの検体から検出した細菌に対して、どの抗生物質が効果を示すのかを検査しており、これを薬剤感受性検査といいます。



細菌発育なし=効果あり



細菌発育あり=効果なし

## 「安全においしく食事をするために」

～誤嚥性肺炎予防～

飲食物が誤って気管に入ることによって発症する肺炎を「誤嚥性肺炎」と言います。口の中が汚れていると唾液でも発症する可能性があり、高齢者の肺炎の70%以上が誤嚥に関連しているというデータがあります。いつまでも安全においしく食べるために誤嚥に注意しましょう。

### <誤嚥性肺炎予防のポイント>

①手・口・喉を清潔に保ちましょう。



②水分でおせるときは、適度なとろみを付けましょう。(ポタージュ程度)



④硬い食べ物は、「煮る」「蒸す」「ミキサーにかける」など柔らかくなるように工夫しましょう。



③パサつく食べ物は、餡かけ風にしてまとまりを良くしましょう。



(摂食・嚥下障害看護認定看護師 池邊佳美)

## 放射線検査は安全な検査！

放射線検査は体に悪いのではと不安に思ったことはありませんか？

放射線は「どこに」「どれだけ」照射されたかで影響が異なります。

例えば、腹部CT検査で生殖腺が被ばくした場合

- ①生殖腺に腹部CT検査の何百倍もの放射線を受けないかぎり不妊になることはありません。
- ②妊娠に気づかず腹部CT検査を受けても、生まれてくる子どもに影響を及ぼすことはありません。



広島・長崎の原爆被爆者の追跡調査の結果、子孫に対する影響は確認されていません。放射線検査は安全な検査です。必要な検査は安心して受けてください。

## 「高齢者の食事の工夫」シリーズ〈その1 食欲低下〉

超高齢社会を迎えつつある現在、できるだけ元気で自立した生活を続けたいものです。そして、私たち管理栄養士は、人生の最後まで「食べる楽しみ」を持ち続けてもらいたいと願っています。

高齢者はとかく食が細くなりがちですが、必要な栄養素の不足や偏りは体調をくずす原因です。寝たきりや、それに近い状態になると、床ずれができやすくなったり、治りにくくなったりしますので、食生活には十分配慮する必要があります。このコーナーではそんな高齢者の食生活に関する特徴と食事のヒントをシリーズで紹介します。

### まず、高齢者の食生活に関する「体の変化」を知りましょう！

老化現象は個人差がありますので、それぞれの状態に合わせて食生活を工夫していくことが必要です。



### 「食欲低下」については、まず、原因をつきとめましょう。

- ① 体調の変化、病気など（運動不足、間食の摂り過ぎ、夏ばて、歯痛、入れ歯の不具合、風邪、発熱、不眠、便秘、その他のいろいろな病気）
- ② 精神的な問題（心配事、ストレス、生きがいや意欲の喪失、うつ病など）
- ③ 薬の影響・副作用等（鎮痛剤、抗生物質、心臓の薬、喘息の薬など）

※副作用が考えられたら早めに主治医に相談してください。

そしゃく えんげ  
※今回は咀嚼・嚥下力の低下対策についてです。



## 県立病院でやすらぎのひとときを

大分県立病院では、入院中の生活が単調になりがちな患者さんに対して、心の安らぎと潤いのひとときを過ごしていただくため、恒例の「七夕のゆうべ」コンサートを7月7日に開催しました。



今回は「室内楽おおいた～grand(グラン)～」のみなさんによる弦楽四重奏で、「七夕さま」のほか、ディズニー映画「アラジン」「美女と野獣」、スタジオジブリ映画「天空の城ラピュタ」「となりのトトロ」、などの曲を演奏していただきました。

入院患者のみなさんの願いごとを書いた短冊や、美しい飾りつけを施した七夕飾りの中で、なじみのある曲の演奏に自然と手拍子や歌を口ずさむ方もいて、観客と演奏者が一体となった素晴らしいコンサートとなりました。





# 医療ネットワーク

大分県立病院診療支援センター



TEL:097-546-7129/FAX:097-546-7368/e-mail:renkei@oitakenbyo.jp

## ～退院支援のご紹介～

### 退院後の生活に不安をお持ちの患者さんへ

県立病院から退院される患者さんのなかには、退院後も治療を必要とされる方や退院後も日常生活の支援（介護等）を必要とされる方など、退院後の生活に不安を感じる方がいらっしゃいます。退院後の生活の対策は、福祉施設等への入居や介護保険の利用など様々なことが考えられますが、いずれにしても、患者さんが入院中に検討・計画・準備しておくことが必要となります。ただ、それらを、患者さんやご家族の方だけで、調査・検討することには限界があります。

### 例えば…

介護保険の利用をしたいが、制度や手続きがよくわからない。  
福祉施設等に入居したいが、自分に必要な設備等とはなんであるかわからない。  
引き続き治療が必要であるが、どのようにすればいいのだろうか。



### そんなとき

県立病院（医療相談室など）スタッフにご相談ください。



相談

### 県立病院（医療ソーシャルワーカーなど）ができること

退院後の生活は、患者さんやご家族の皆さんが決められることですが、時に、病気になったことや体の動きが悪くなったことなどで、今後の生活に不安を感じる方も多いと思います。県病では、そんな患者さんの相談を伺い、必要な連絡や調整を行うなどのお手伝いをしています。

### 例えば

各種制度の紹介・申請等手続きの説明・所管機関との連絡調整  
退院後にどのような支援が必要となるのかを確認・提案・調整  
退院後も適切な治療を受けるための確認・連絡・調整



準備



調整

### そのほか

医療支援に関することは県立病院スタッフにご相談ください。

# 外来診療一覽表

注) 診療日が変更になる場合もありますので、予めご了承ください。  
(平成27年11月1日現在)

診療科	曜日				
	月	火	水	木	金
循環器内科	○	○	検査日	○	○
内分泌・代謝内科	○	○	○	○	○
消化器内科	○	○	○	○	○
腎臓・膠原病内科 9:30~	新患 ○	休診	○	○	休診
呼吸器内科	○	○	○	○	○
呼吸器腫瘍内科	○	休診	○	休診	○
血液内科	○	○	○	○	○
神経内科	○	○	○	○	○
外科	消化器 ○	○	○	○	○
脳神経外科	手術日 休診	○	○	○	手術日 休診
呼吸器外科	○	(新患) ○	○	(新患) ○	○
心臓血管外科	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
整形外科	○	○	手術日 休診	○	○
形成外科	休診	○	○	○	休診
眼科	○	手術日 予約のみ	○	手術日 予約のみ	○
耳鼻咽喉科	○	○	手術日 休診	○	○

診療科	曜日				
	月	火	水	木	金
婦人科	新患 ○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
産科	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○
新生児科	○	○	○	○	○
小児外科	○ 午後手術	○	○	手術日 休診	○
内視鏡科	消化管 ○	○	○	○	○
皮膚科	○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
泌尿器科	新患 ○	手術日 休診	○	手術日 休診	○
精神神経科	○	予約制	予約制	予約制	予約制
緩和ケア外来	○ 15時から	休診	休診	休診	休診
放射線科	○	○	○	休診 午前中	○
歯科口腔外科	○	予約のみ	○	予約のみ	○
麻酔科	休診	休診	休診	休診	休診
外来化学療法室	午前 婦人科 泌尿器科	外科 呼吸器外科 脳神経外科	泌尿器科 脳神経外科 婦人科	外科 呼吸器外科 脳神経外科	外科 泌尿器科
	午後 血液内科 呼吸器内科	外科 小児科 呼吸器外科	消化器内科 腎臓内科 血液内科	外科 小児科	血液内科 呼吸器内科
診療科の判断が 困難な場合の 担当診療科	消化器内科	1・3・5週 内分泌代謝内科 2・4週 循環器内科	呼吸器内科	神経内科	血液内科

**アクセス**

オアシスひろば ● トキハ前2番のりば  
● 県庁  
● 大分駅前4番のりば  
● 大分駅  
● 古国府駅 ● 豊府小  
● 古国府 ● 上野丘  
● 豊府高 ● 豊府中 ● 豊府高  
● 府内大橋 ● 下郡バイパス  
● 羽屋交差点 ● 南大分体育館 ● 南大分スポーツパーク ● 南大分IC  
● 三芳 ● 永興 ● 至竹田・佐伯  
● 至光吉IC ● 至菅鏡 ● 至野津原 ● 至抜間 ● 至賀来

**大分県立病院**

JR: 大分駅からタクシーで約15分または  
南大分駅からタクシーで約8分  
バス: 大分駅前・トキハ前バス停からバス・徒歩を含めて約25分  
(大分市内中心部から約25分間隔で運行)  
駐車場: 有料駐車場(約400台)完備(1時間まで無料)

**受付時間** 午前8時～午前11時

**救急患者は24時間受入**

紹介による受診に関する事は…

地域医療連携班

平日(土・日・祝日除く)  
午前8時15分～午後5時  
TEL 097-546-7129  
FAX 097-546-7368

**診療開始時間** 午前8時30分

**休診日** 土・日・祝日・年末年始  
(12月29日～1月3日)

療養中の心配事や不安などは…

患者相談支援班

平日(土・日・祝日除く)  
午前8時30分～午後5時  
TEL 097-546-7125

Oita Prefectural Hospital  
**大分県立病院**

〒870-8511 大分市大字豊鏡476番地

TEL 097-546-7111～2(代表) FAX 097-546-0725 総務経営課広報係、2710(内線)  
E-mail a80200@pref.oita.lg.jp ホームページ <http://hospital.pref.oita.jp/>

※当ニュースへのご意見・ご感想は1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

